多国籍企業の研究開発に関するアンケート調査

＊本調査における研究開発には設計を含みます。

F1：貴社の業種を下記の選択肢から一つ選び、その番号に○をつけて下さい。

１．電気機器	２．輸送用機器	３．化学	４．医薬品
５．一般機械	６．精密機器	７．情報・通信	８．その他（　　）

F2：下記の選択肢の中から貴社の主な研究開発業務をすべて選択し、該当する番号に○をつけて下さい。複数選択した場合には、主な業務一つに◎をつけ、**次頁からの設問には、◎をつけた業務を念頭においてお答えください。**

１．研究	２．開発	３．設計	４．その他（　　）

F3：貴社の今年（2014 年）3 月 31 日時点の従業員数及びその内訳について、おおよその人数を記入して下さい。ただし、該当者がいない場合は、「0」を記入して下さい。

国内の従業員総数（国内は貴社単体ベースでお答えください）	人
国内の研究開発者総数（国籍・採用地を問わない）	人
国内の外国人研究開発者数（採用地を問わない）	人
海外から派遣されている外国人研究開発者数	人
海外拠点の研究開発者総数（国籍・採用地を問わない）	人
日本から派遣されている研究開発者数	人

F4：貴社が海外で研究開発拠点を最初に設立した経緯に○をつけ、設立年とその国名を記入して下さい。

設立経緯	１．単独出資 ２．合弁 ３．M&A	設立年	年	設立国	

次の F5 と F6 はおおよその値で結構ですので、可能な限りご記入下さい。

F5：貴社の単体および連結の売上高（2013 年度実績）を記入して下さい。

単体：＿＿＿＿＿＿＿＿円　※百万・億等の単位でご記入頂いても結構です

連結：＿＿＿＿＿＿＿＿円（うち海外＿＿＿＿＿＿＿＿円）

F6：貴社の単体および連結の研究開発費総額（2013 年度実績）を記入して下さい。

単体：＿＿＿＿＿＿＿＿円　※百万・億等の単位でご記入頂いても結構です

連結：＿＿＿＿＿＿＿＿円（うち海外＿＿＿＿＿＿＿＿円）

Q1：貴社（連結対象関連会社を含む）の国内外の研究開発拠点（名称に関わらず、研究開発機能を持つ全ての拠点）について、地域別に、拠点数と代表的な拠点が立地する国の名前をお答え下さい。拠点がない場合には、拠点数に「０」を記入してください。

地域		拠点数	各地域の代表的な拠点所在国（各地域一つのみ）
日本国内		箇所	
日本国外	北米	箇所	
	欧州	箇所	
	アジア	箇所	
	その他	箇所	

Q2：海外の研究開発拠点の設立理由について、拠点のある地域についてのみ、地域別にお答えください。以下の設立理由のうち該当する項目があれば、その番号すべてに○をつけて下さい。

拠点の設立理由	欧州	北米	アジア
①現地の市場ニーズをとらえる	1	1	1
②現地の技術情報や研究のシーズを探索する	2	2	2
③先端的研究や先行研究を行う	3	3	3
④現地における政府や標準化委員会等への対応を行う	4	4	4
⑤現地で、サプライヤー、共同研究先、アライアンス先を探索する	5	5	5
⑥現地向け製品の研究開発プロセスのほぼすべてを現地拠点で行う	6	6	6
⑦現地向け製品の研究開発プロセスの一部を現地拠点で行う	7	7	7
⑧日本/グローバル向け製品の研究開発プロセスのほぼすべてを現地拠点で行う	8	8	8
⑨日本/グローバル向け製品の研究開発プロセスの一部を現地拠点で行う	9	9	9
⑩その他（具体的に：　　）	１０	１０	１０

Q3：貴社の研究開発活動のうち、どの程度、貴社の海外拠点（グループ内企業の海外拠点を含む）と共同研究開発を行っていますか。以下の選択肢のうち、該当する番号一つに○をつけて下さい。

1　国際共同研究開発プロジェクトは全くない
2　全体の半分未満が国際共同研究開発プロジェクトである
3　全体の半分以上が国際共同研究開発プロジェクトである
4　ほとんどが国際共同研究開発プロジェクトである

Q4：貴社が最も重要と位置付けている海外の研究開発拠点（**以下、主要拠点と表記**）は、以下のどの地域にありますか。地域の番号一つに○をつけて下さい。

１．　欧州	２．　北米	３．　アジア	４．その他

Q5：**主要拠点**との間で、一年間にどのくらいの頻度で知識・技術等の伝達や移転を行っていますか。「日本から主要拠点へ」と「主要拠点から日本へ」に分けて、下記の項目ごとに、あてはまる頻度の番号一つに○をつけて下さい。

項目	日本から主要拠点へ			主要拠点から日本へ		
	全くない	たまにある	よくある（月１以上）	全くない	たまにある	よくある（月１以上）
① 研究開発戦略・方針	1	2	3	1	2	3
② 市場の製品・技術ニーズ	1	2	3	1	2	3
③ 社内の製品仕様や品質基準	1	2	3	1	2	3
④ 会社独自の研究開発方法	1	2	3	1	2	3
⑤ 研究開発内容にかかわる知識・技術	1	2	3	1	2	3
⑥ 社外から吸収した知識・技術	1	2	3	1	2	3
⑦ 研究開発の進捗状況	1	2	3	1	2	3
⑧ 法規・世界標準	1	2	3	1	2	3
⑨ 研究開発者に関する情報	1	2	3	1	2	3
⑩ 新製品・技術に関する市場評価	1	2	3	1	2	3

Q6：**主要拠点**との間で、下記の①～⑩の伝達や移転を行うために、(a)~(d)の方法を利用していますか。項目ごとに利用している方法には○、利用していない方法には×を記入して下さい。ただし、伝達や移転が行われていない項目については、(a)~(d)のすべてに×を記入して下さい。**本調査では、「海外派遣」は、所属先に関係なく 3 ヶ月以上海外に滞在した場合を指します。「海外出張」は、3 ヶ月未満滞在した場合を指します（以下同様です）。**

項目	海外派遣（3 ヶ月以上）(a)	海外出張（3 ヶ月未満）(b)	TV 会議・Skype・電話 (c)	E メール・社内文書 (d)
① 研究開発戦略・方針				
② 市場の製品・技術ニーズ				
③ 社内の製品仕様や品質基準				
④ 会社独自の研究開発方法				
⑤ 研究開発内容にかかわる知識・技術				
⑥ 社外から吸収した知識・技術				
⑦ 研究開発の進捗状況				
⑧ 法規・世界標準				
⑨ 研究開発者に関する情報				
⑩ 新製品・技術に関する市場評価				

Q7：**主要拠点**には以下の各項目についてどの程度の裁量がありますか。裁量の程度を項目ごとに5段階（主要拠点の裁量が、ない＝１、あまりない=２、どちらともいえない＝３、ややある＝４、ある＝５）から一つ選択し、該当する番号に○をつけて下さい。

裁量がない　　裁量がある

１・・・・・・２・・・・・・３・・・・・・４・・・・・・５

① 研究開発の業務計画の策定	1	2	3	4	5
② 研究開発予算の策定および収益管理	1	2	3	4	5
③ 研究開発者の採用方針や基準の決定	1	2	3	4	5
④ 研究開発者の育成の方針決定や実施	1	2	3	4	5
⑤ 研究開発者の人事評価・処遇の方針決定や運用	1	2	3	4	5
⑥ 技術情報・研究シーズの探索	1	2	3	4	5
⑦ 現地向け製品の仕様決定	1	2	3	4	5
⑧ 研究開発テーマ・プロジェクトの策定	1	2	3	4	5
⑨ 研究開発の方法の決定	1	2	3	4	5
⑩ 現地サプライヤー、提携先、共同研究先の選定	1	2	3	4	5
⑪ 日本以外の他拠点との連携の実施	1	2	3	4	5

＊以下の設問に関しては、主要拠点に限らず海外拠点全般についてお答え下さい。

Q8：海外拠点と連携した研究開発を成功・促進するために、以下の各項目をどの程度実施していますか。各項目について実施の程度を5段階（実施していない＝１、あまり実施していない＝２、どちらともいえない＝３、やや実施している＝４、実施している＝５）から選択し、該当する番号一つに○をつけて下さい。

実施していない　　実施している

１・・・・２・・・・３・・・・４・・・・５

① 海外拠点の研究開発者とコミュニケーションを密に行う	1	2	3	4	5
② 技術情報をデータベース化し、拠点間で情報共有を促進する	1	2	3	4	5
③ 成功例や失敗例をグローバル・レベルで共有する	1	2	3	4	5
④ 海外拠点とグローバル研究開発の方針を共有する	1	2	3	4	5
⑤ 世界中の拠点から必要な人材を選抜して、プロジェクト・チームを組織する	1	2	3	4	5
⑥ 研究開発プロジェクトの編成において、研究領域の異なる人材の組み合わせを重視する	1	2	3	4	5
⑦ 海外拠点のトップをローカル人材にする	1	2	3	4	5
⑧ グローバル・プロジェクトを推進できる人材を育成する	1	2	3	4	5
⑨ 各海外拠点の権限と責任の範囲を明確にする	1	2	3	4	5
⑩ 研究開発者の国籍を多様化する	1	2	3	4	5
⑪ 各拠点において、その地域の文化・慣習に合わせたマネジメントを行う	1	2	3	4	5
⑫ 日本の研究開発のトップもしくはリーダーが強力な権限をもって拠点を含む全体を統括している	1	2	3	4	5

Q9：日本と海外拠点間における研究開発者の海外派遣（所属先に関係なく３ヶ月以上の滞在）の頻度について、「①海外拠点から日本」、「②日本から海外拠点」に分けて、該当する番号一つに○をつけて下さい。

	実施していない	必要に応じて実施	常に実施
① 海外拠点から日本	1	2	3
② 日本から海外拠点	1	2	3

Q10：**Q9 の①で、実施していると回答（２または３を選択）した企業にのみお尋ねします。**海外拠点から日本に研究開発者を受け入れる理由について、以下の各項目は貴社にどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

海外拠点から日本に受け入れる理由	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
① 日本の技術を学び、それを海外拠点に移転するため	1	2	3	4	5
② 日本の研究開発・人材マネジメントの方法を学び、それを海外拠点に移転するため	1	2	3	4	5
③ 海外の技術を日本へ移転するため	1	2	3	4	5
④ 海外の市場情報を移転するため	1	2	3	4	5
⑤ 日本拠点の人手不足を補うため	1	2	3	4	5
⑥ 受け入れた研究開発者の教育訓練のため	1	2	3	4	5
⑦ 受け入れた研究開発者の人的ネットワークを広げるため	1	2	3	4	5
⑧ 戦略やマネジメントについて、相談・調整を行うため	1	2	3	4	5

Q11：**Q9 の②で、実施していると回答（２または３を選択）した企業にのみお尋ねします。**日本から海外拠点へ研究開発者を送り出す理由について、以下の各項目は貴社にどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

日本から海外拠点へ送り出す理由	該当しない 1	2	3	4	該当する 5
① 日本から海外へ技術を移転するため	1	2	3	4	5
② 日本の研究開発・人材マネジメントの方法を移転するため	1	2	3	4	5
③ 海外の技術を学び、それを日本へ移転するため	1	2	3	4	5
④ 海外の市場情報を入手するため	1	2	3	4	5
⑤ 海外拠点の人手不足を補うため	1	2	3	4	5
⑥ 送り出した研究開発者の教育訓練のため	1	2	3	4	5
⑦ 送り出した研究開発者の人的ネットワークを広げるため	1	2	3	4	5
⑧ 海外拠点のマネジメントを行うため	1	2	3	4	5

Q12：研究開発に携わる外国人や海外派遣者（所属先に関係なく３ヶ月以上の滞在）に関する以下の項目は、貴社にどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

該当しない　　該当する

１・・２・・３・・４・・５

① 海外派遣者の選定の際、本人の希望を重視する	1	2	3	4	5
② 海外派遣者として、優秀な人材が選抜される	1	2	3	4	5
③ 海外派遣の経験は特定の人に集中している	1	2	3	4	5
④ 海外派遣中の社員や家族に対してメンタルヘルスケアを行っている	1	2	3	4	5
⑤ 帰任者は海外派遣の経験を活かすことのできる業務を担当している	1	2	3	4	5
⑥ 帰任者は海外の知識・技術・文化を職場に導入し広めている	1	2	3	4	5
⑦ 帰任者は海外拠点とのブリッジとして活躍している	1	2	3	4	5
⑧ 外国人の採用により職場に新しいアイデアや視点が導入されている	1	2	3	4	5
⑨ 海外とのコミュニケーションの際には外国人が中心になる	1	2	3	4	5
⑩ 外国人は海外拠点とのブリッジとして活躍している	1	2	3	4	5

Q13：研究開発者の処遇等について、以下の各項目は貴社の国内拠点にどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

該当しない　　該当する

１・・２・・３・・４・・５

① 人事評価では、プロセスよりも結果が重視されている	1	2	3	4	5
② 人事評価では、個人よりもチーム・組織業績が重視されている	1	2	3	4	5
③ 評価結果によって大きな報酬格差がつけられている	1	2	3	4	5
④ 人事評価の結果や研究のアイデアに応じて、研究開発者に資金等のリソースを配分している	1	2	3	4	5
⑤ 成果をあげた研究開発者には、個人の自由な発想に基づく研究開発を行う時間の自由を与えている	1	2	3	4	5
⑥ 職務発明のインセンティブとして発明者に報奨を与えている	1	2	3	4	5
⑦ 職能資格制度を運用している	1	2	3	4	5
⑧ 国内外を問わず同一の評価システムを運用している	1	2	3	4	5
⑨ 国内外の全研究開発者の人事データを本社が一括管理している	1	2	3	4	5
⑩ 海外勤務経験のある日本人研究開発者は高く評価されている	1	2	3	4	5
⑪ 国内採用の外国人と日本人では昇進の可能性に差がある	1	2	3	4	5
⑫ 研究開発者の専門職ラダーと管理職ラダーが分かれている	1	2	3	4	5
⑬ 研究開発部門内の異動がよく行われている	1	2	3	4	5
⑭ 研究開発部門を越えた異動がよく行われている	1	2	3	4	5

Q14：国内拠点での研究開発者の採用および人材育成について、以下の各項目は貴社にどの程度該当しますか。各項目についてあてはまる程度（該当しない＝１、あまり該当しない＝２、どちらともいえない＝３、やや該当する＝４、該当する＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。⑤～⑪は国籍を限定せずに全ての研究開発者を対象にしてご回答ください。

該当しない　　該当する
１・・２・・３・・４・・５

① 海外勤務担当を想定した日本人を毎年採用している	1	2	3	4	5
② 外国人を積極的に採用している	1	2	3	4	5
③ 外国人を採用する際、日本語能力を求める	1	2	3	4	5
④ 海外派遣前の日本人社員を対象とした研修が充実している	1	2	3	4	5
⑤ 社内のグローバル統一基準に基づいて採用している	1	2	3	4	5
⑥ 採用の際に、協調性を重視している	1	2	3	4	5
⑦ 採用の際に、博士号を持っていることを重視している	1	2	3	4	5
⑧ 企業特有の研究開発の進め方（段取りや情報共有の仕方など）を継承するための教育訓練（OJT 含む）を行っている	1	2	3	4	5
⑨ グローバルに活躍できる経営幹部候補者を国籍や勤務地を問わずに選抜し、教育訓練を行っている	1	2	3	4	5
⑩ グローバルに活躍できるリーダーを育成するための研修が充実している	1	2	3	4	5
⑪ 各ポジションの詳細な職務記述書を作成して採用や教育訓練などを行っている	1	2	3	4	5

Q15：以下の研究開発成果について、国内拠点全体での 2013 年度実績を記入して下さい。ただし、該当する成果がない場合は「0」を記入して下さい。

新製品（含新型モデル）のリリース件数	件
特許出願総数	件
うち海外拠点と共同開発した特許出願数	件
英文学術論文数	件
研究開発チームや研究開発者が外部から受けた表彰の件数 （例：学会や業界団体からの表彰）	件

Q16: 2013 年度における国内拠点の研究開発の中で、以下の各項目はどの程度実現できましたか。各項目についてあてはまる程度（実現できなかった＝１、あまり実現できなかった＝２、どちらともいえない＝３、やや実現できた＝４、実現できた＝５）を一つ選択し、選択した番号に○をつけて下さい。

実現できなかった　　実現できた
１・・・・・２・・・・・３・・・・・４・・・・・５

① 顧客満足度の高い製品や品質向上につながる研究開発	1	2	3	4	5
② 研究開発プロセスについての経費削減	1	2	3	4	5
③ 予算内の研究開発	1	2	3	4	5
④ 計画したスケジュール通りの研究開発	1	2	3	4	5

質問項目は以上で終わりです。最終ページへお進みください。

本調査の集計結果をご希望の場合は郵送致しますので以下に〇をつけて下さい。また差し支えなければアンケートに回答した方の所属部署と連絡先も記入して下さい。

集計結果の郵送希望	有　・　無
所 属 部 署	
連　絡　先	TEL:　（　　） E-mail： ・アルファベットと数字の区別がつくように（ゼロ 0 と o,　9 と p など）記入して下さい。 ・ - （ハイフン）、　_（アンダーバー）の区別がつくよう記入してください。

最後に、ご意見・ご質問等がございましたら以下の空欄に自由にご記入ください（本調査に関すること、グローバル研究開発に関すること、どのようなことでも構いません)。

Ｎｏ．	この番号は貴社の海外子会社情報等とのマッチングおよび本調査の集計結果をご郵送する際に利用するもので貴社名等が公表されることはありません。

ご協力どうも有難うございました